

個別事業説明書【PR版】

公営企業管理局

1 県立今治病院整備事業費

令和8年度9月補正予算（案）
債務負担行為限度額29,786,902千円

県立今治病院（昭和58年築）については、建築後43年を経過し、老朽化・狭あい化が進んでいることから、今治圏域内で将来にわたって安定的・継続的に良質な医療を提供するため、今治新都市へ移転新築する。令和7年6月補正予算において整備予算を計上、令和7年9月に入札公告したが、事業者の辞退により令和8年4月に入札中止となったため、改めて整備内容等を見直し、一日も早い開院に向けて取り組む。

指標	施策	30 医療体制の整備 KGI 県内の医療施設に従事する医師数	現状値 3,762人（R6年） 目標値 3,819人（R8年）
	細施策	30-9 県立病院の健全経営 KGI 資金不足比率（資金不足が生じていない状態を0とする）	現状値 0（R6年度） 目標値 0（R8年度）

お問い合わせ先
公営企業管理局
県立病院課
(089-912-2816)

事業イメージ	KPI 県立今治病院整備事業の進捗状況 (R8年度中に目標値100%（再公告）を目指す。)	現状値 - 目標値 100%（R8年度）
--------	---	-------------------------

新今治病院の担うべき役割・機能

- ・圏域において最多の病床を有する中核病院として、救急医療、小児・周産期医療などの政策的医療や高度・急性期医療を中心に担う。
- ・圏域の医療機関と適切に役割分担、連携。その上で不足する医療提供体制を補完する。

(県立今治病院老朽化対策基本計画（R7.5改訂版）)



- これまでの経緯
- ・R7年度6月補正予算：整備予算を計上（債務負担行為）
R8年度契約予定ではあったが入札公告のため計上
 - ・R7年9月：入札公告
 - ・R8年度当初予算：整備予算を再計上（債務負担行為、歳出予算）
債務負担行為予算の効力は設定年度限りのため、再計上
 - ・R8年4月：入札中止（事業者の辞退による）
 - ・R8年度9月補正予算：整備内容等を見直し、増額補正（債務負担行為）
事業費全体額を債務負担行為限度額として計上

- 主な見直し内容
- 老朽化対策基本計画に定める機能・役割等はしっかり果たせるよう配慮した上で、
- ・病院整備は設備費の比率が高く、その価格が高騰しており、さらに今後の物価上昇等を踏まえ、必要な事業費を改めて整理
 - ・看護師用の宿舎を民間賃貸住宅の借上げ等による整備に変更
 - ・諸室構成の見直しにより、病院棟の必要面積を削減 等

事業概要

(1) 新病院の概要

移転地	今治市しまなみの杜1番2(市有地)	整備建物	病院棟、医師宿舎
許可病床数	215床	診療科	24科
内容	・圏域内唯一の災害拠点病院として免震構造、屋上ヘリポートを新たに整備 ・圏域内唯一の地域周産期母子医療センター（NICU3床・GCU6床） ・感染症病床4床を新たに確保し、第二種感染症指定医療機関として整備 ・圏域の医療提供体制等を踏まえ、高度急性期病床のHCU（現6床）を6床増床 等		

- (2) 総事業費
- ：297.9億円（債務負担行為297.9億円）
↑（+86.7億円）
当初予算時：211.2億円（債務負担行為209.9億円、歳出予算1.3億円）
- (3) 債務負担行為設定期間
- R9年度～13年度
- (4) 整備スケジュール（想定）

